

「3年・方位の探究 (11)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

社会科から借りた地球儀を見ながら、好きな地名をテープに書いて、それを「ここぞ」と思う場所に貼って、地磁気地球儀は完成した。私は、一人一個持っている簡易方位磁針を、あちこちあてがって、磁針の振れを見ればいいかな・・・と思っていた。しかし、子どもたちは、全部の地名のそれぞれに方位磁針を「貼り付けたい」という。無茶な話だが・・・

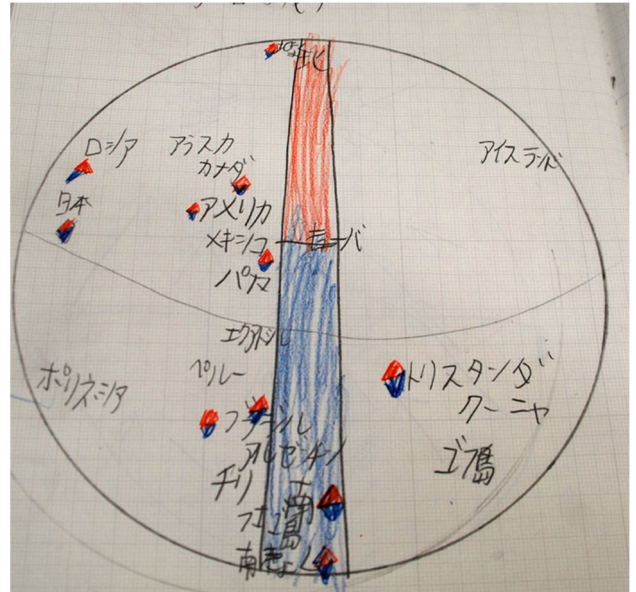


仕方なく、理科室の方位磁針を総動員して、貸し出してあげた。そして完成したものが上の写真だ。子どもたちの驚くべき探究心の結果と言えるだろう。

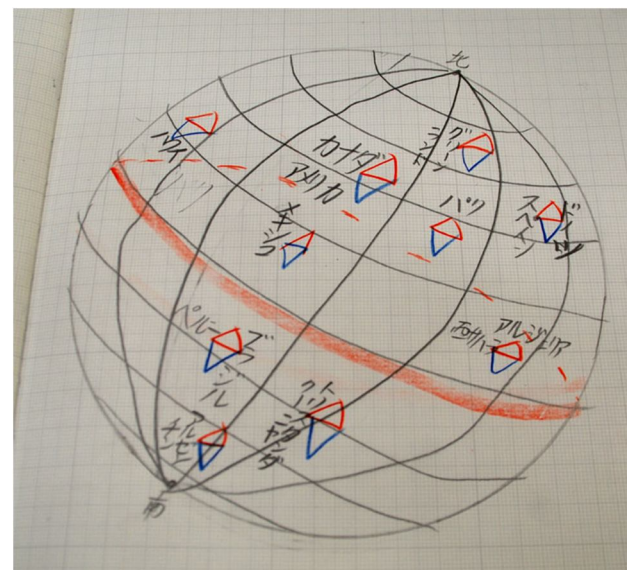


個々の方位磁針の針を、正確に読み取ろうとする子どもの姿が素晴らしいと思った。

私は、子どもたちがこの結果を、的確にノートに記録するのは難しいだろうと考えていた。しかし、特に指示をしたわけでもないのに、子どもたちは当然のようにノートに記録を始めた。



これは二次元的な記録。3年生の子どもらしい形である。方位磁針の向きが逆になってしまっているが、気付かなかったようだ。「トリスタン・ダ・クーニャ」を忘れていないところが素晴らしい。



これは同じ班の別の子どもの記録。地球儀を参考に、地球を立体的に描いて記録している。しかも地軸をちゃんと傾斜させて描いてある。地名の位置もほぼ合っていて、まったく脱帽である。